

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ビジネス実務 I | | 科目コード | 10040102 | | |
|------------|---|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とした講義内容とする。</p> <p>テキストを通じた授業では、社会人としてのマナーを身に付け、実践する。</p> <p>学校行事に全力で取り組み、コミュニケーション能力を身につける。</p> <p>社会に出ていくうえで必要となる基礎的な情報を知り、自分のキャリアをどのように築いていけばいいかを考える。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・明確な個人目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身に付け、社会人としての判断ができる。 ・自己理解の深化、職業理解の促進、キャリアプランニング能力の育成、社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力、問題解決力、情報収集能力などのスキルの習得。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | 常勤 | | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | ビジネスマナー基本テキスト「日本能率協会マネジメントセンター」、就活支援ブック 社会探求編「株式会社 キャリタス」 | | | | | |
| 関連科目 | ビジネス実務Ⅱ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校行事 <ol style="list-style-type: none"> ①1年生合宿 2. ビジネスマナーの基本 <ol style="list-style-type: none"> ①基本姿勢 ②重要性 ③身嗜み ④言葉遣い ⑤挨拶の基本 ⑥理解度チェック 3. ビジネスマナーとルール <ol style="list-style-type: none"> ①目標の立て方 ②仕事の進め方 ③時間管理 ④報告連絡相談 ⑤理解度チェック 4. キャリアチャレンジ 5. 学科運営 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | コンピュータ概論 | | 科目コード | 10012002 | | |
|------------|--|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 70 | 4 | 無 |
| 授業の概要・目的 | テクノロジ系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を網羅的に学ぶ。 基礎的な用語や考え方を身につけることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | 急速に進化するIT業界において、ニュース等で最新の情報も取り入れることで、新しい知識や技術に興味を持ち、主体的に学べる基礎学力を身につける。 情報処理能力認定試験2級1部に合格する程度の知識を身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験: 情報処理能力認定と同水準の試験を行い、その試験結果により判定し、評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | 常勤 | | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論」(株)ウィネット、「情報処理試験合格へのパスポート、マネジメントと情報化」(株)ウィネット、「情報処理技術者能力認定試験問題集」(株)サーティファイ | | | | | |
| 関連科目 | 情報処理技術者 I | | | | | |
| 授業計画 | 1. 第1章 コンピュータの基礎知識 2. 第2章 コンピュータの数値表現 3. 第3章 ハードウェア 4. 第4章 システムの構成要素 5. 第5章 ソフトウェア 6. 第6章 マルチメディア 7. 第7章 AI(人工知能) 8. 第8章 アルゴリズムとデータ構造 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ネットワークセキュリティ | | | 科目コード | 10012102 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 45 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | ネットワークに関する基本知識及び情報セキュリティに関する基本知識を身につけることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | ネットワークに関する基礎的な知識が説明できる及び情報セキュリティに関する必要な知識が説明できる。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験 (95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 岡本 和也 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術」(株)ウィネット | | | | | |
| 関連科目 | 情報処理技術者 I | | | | | |
| 授業計画 | 1. 第1章 データベース 2. 第2章 ネットワーク 3. 第3章 情報セキュリティ | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | プログラミング I | | | 科目コード | 10011602 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 65 | 3 | 有 |
| 授業の概要・目的 | オブジェクト指向プログラミングの基本的概念を理解し、オブジェクト指向を用いたJava言語プログラミングができるようになることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | JAVAを学習し、順次・分岐・繰り返し等の3つの構文や配列を扱えるようになる。オブジェクト指向の考え方を学習しプログラミングができるようになる。Java3級に合格する程度の知識を身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(70%) 授業中課題(20%) 出欠席(5%) 授業態度(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:Java3級と同水準の試験を行い、その試験結果により判定し、評価する。 授業中課題:各章に対する演習課題により判定し、評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 株式会社システムエンタープライズ | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 岡山県に本社を置くソフトウェア開発・ITソリューション企業です。金融・教育・医療など幅広い分野でシステムコンサルティングや受託開発を行っている。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | スッキリわかるJava入門 第4版「インプレス」 | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング II プログラミング III | | | | | |
| 授業計画 | <ul style="list-style-type: none"> ●第I部 ようこそJavaの世界へ 1. chapter 1 プログラムの書き方 2. chapter 2 式と演算子 3. chapter 3 条件分岐と繰り返し 4. chapter 4 配列 5. chapter 5 メソッド 6. chapter 6 複数クラスを用いた開発 ●第II部 スッキリ納得 オブジェクト指向 7. chapter 7 オブジェクト指向をはじめよう 8. chapter 8 インスタンスとクラス 9. chapter 9 さまざまなクラス機構 10. chapter 10 継承 11. chapter 11 高度な継承 12. chapter 12 多態性 13. chapter 13 カプセル化 ●第III部 もっと便利にAPI活用術 14. chapter 14 Javaを支えるクラスたち 15. chapter 15 文字列と日付の扱い 16. chapter 16 コレクション 17. chapter 17 例外 18. chapter 18 まだまだ広がるJavaの世界 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | アルゴリズム概論 | | | 科目コード | 10012202 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 前期 | 50 | 3 | 無 |
| 授業の概要・目的 | プログラムの流れを考え、疑似言語を使い記述するものであるため、正解が一つではない事を第一に理解する。基礎でパターン化された手順を学び、その後、応用問題を解く事により理解度を深める。 | | | | | |
| 到達目標 | 基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方を身につけることを目的とする。また、如何に効率よく作れるか、論理的に処理手順を考える能力を身につける。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験 (95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 基礎的なアルゴリズムの流れ、考え方が身につけられているか、また論理的思考力を問う記述試験を実施し、評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 「情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造」(株)ウィネット | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング I プログラミング II | | | | | |
| 授業計画 | 1 アルゴリズム入門 2 流れ図の基本パターン 3 疑似言語の基本パターン 4 問題演習 5 計算のアルゴリズム 6 問題演習 7 関数・手続き 8 問題演習 9 配列の操作 10 問題演習 11 探索のアルゴリズム 12 整列のアルゴリズム、オブジェクト指向 13 問題演習 14 データ構造 15 問題演習 16 確認テスト | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | ビジネスアプリケーション演習 | | | 科目コード | 10010802 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | Windowsの操作に慣れていない学生、Excelを使用したことがない学生もいるため、Windows操作方法の確認、Excelでは操作方法の確認、各関数を使えるようにする。実際にパソコンを使用して、確実に処理が行われているか確認しながら、エクセル2級検定の合格レベルまで引き上げていく。 | | | | | |
| 到達目標 | <p>随時初めて使用する機能や関数が出てきた場合には、問題を解かせる前にプロジェクターを使用して前で解説を行う。</p> <p>学生同士で聞き合える環境づくりに徹し、手がまわらない部分を補う。</p> | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(65%) 提出物(30%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | Windowsの基本操作を理解する。表計算ソフトの基本機能と操作方法を習得する。関数を使った簡単な表を作成し、必要に応じて並べ替えやフィルターを設定できるようにする。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | Windows11やさしい教科書、30時間でマスターOffice2024 | | | | | |
| 関連科目 | なし | | | | | |
| 授業計画 | 1 Windowsの基礎知識 2 Windowsの基礎操作 3 Excelの基礎知識 4 データの入力 5 表の作成 6 数式の入力 7 複数シートの操作 8 グラフの作成 9 Excelの関数 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ペン字 | | | 科目コード | 10030102 | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 前期 | 15 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>美しい文字(読み手が読みやすく、丁寧に書かれた文字)を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。</p> <p>ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。</p> <p>履歴書・封筒(縦・横)の書式を理解し、美しく紙面にバランスよく書けるようにするとともに学び続ける意欲を持たす。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <p>書き込み式のテキストを使い、ポイントを理解し、反復練習し、上達をはかる。</p> <p>ひらがな、漢字基本点画、部首別解説では、生徒が板書した字をもとに重要ポイントを具体的に応用が利くように解説する。</p> <p>個別指導、声かけにより成長した所、今後取り組むべき課題を明確にし、楽しく学び続ける意欲を持たせる。</p> | | | | | |
| 評価項目 | <p>履歴書(45%)</p> <p>封筒たて(10%)</p> <p>封筒よこ(10%)</p> <p>礼状たて(10%)</p> <p>礼状よこ(10%)</p> <p>授業態度(5%)</p> <p>感想(5%)</p> <p>出欠席(5%)</p> | | | | | |
| 評価基準 | 各授業の課題により評価 | | | | | |
| 担当教員 | 三宅 佳与 | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 書塾で教鞭をとり30年 現在は学校教員の指導講座ももつ | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 美しく正しい字が書ける ペン字練習帳「新星出版」 | | | | | |
| 関連科目 | なし | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の習得(ひらがな楷書) 2. カタカナの基本 3. 漢字について 4. 数字とアルファベット 5. はがき、封筒の表書きについて 6. 履歴書について 7. まとめ | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | ビジネス実務Ⅱ | | | 科目コード | 12050701 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 45 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | <p>日々変化・進歩しているビジネス社会で働く「人材」には、仕事を処理するために必要な専門知識はもとより、基本的な社会常識やビジネスマナー、さらには優れたコミュニケーション能力が必要となってくる。</p> <p>そのために必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とし講義内容とする。</p> <p>就職に必要なマナー、面接対策、コミュニケーション力などの実践力を養い、自分の将来をしっかりと見つめて働くことや職業への理解を深めていく。</p> | | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みを知り、効果的に自分を伝える方法を学ぶ。 ・社会人としてマナーの必要性を理解させるため、業界での必要とされる人材を意識させ、ロールプレイングを取り入れ、実践させていく。 ・明確な目標設定ができ、それに向かって努力ができる。 ・マナー、礼儀を身につけ、社会人としての判断ができる。 ・自己分析、応募書類の書き方、面接のコツなど、就活テクニック向上につながる知識を得る。 ・第1回就職対策の準備をする。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(65%) 出欠席(5%) 提出物(30%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:各単元の理解度をはかる試験を実施し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | ビジネスマナー基本テキスト「日本能率協会マネジメントセンター」、就活支援ブック 就職活動編「株式会社 キャリタス」 | | | | | |
| 関連科目 | ビジネス実務Ⅰ | | | | | |
| 授業計画 | 1. キャリア 12コマ ①自己PR ②履歴書、自己紹介書 ③面接対策 2. 就職対策 23コマ 3. 電話の対応 5コマ ①電話の基本マナー ②電話の受け方・かけ方 ③不在者宛ての電話対応 ④伝言のポイント ⑤携帯電話のマナー ⑥電子メールの基本マナー 4. 対応のマナー 5コマ ①来客対応 ②案内の基本 ③席次の基本知識 ④お見送りの基本 ⑤訪問の予約の取り方、取次依頼、面会時のマナー ⑥名刺交換マナー ⑦お茶の出し方 | | | | | |

| | |
|--------|--|
| 事前事後学習 | |
|--------|--|

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | IT基礎理論 | | | 科目コード | 12023601 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 50 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | サーティファイの過去問題を中心に、一問一問理解を深め各分野の基礎力を高め応用力を付け、さらなる実力アップをはかることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | サーティファイ情報処理技術者能力認定試験2級もしくは3級Javaプログラミング能力認定試験2級もしくは3級の取得を目指し、コンピュータ用語の確認、言語問題のトレース力の強化等、分野ごとに総仕上げを行う。 | | | | | |
| 評価項目 | 検定結果(45%) 期末試験(50%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 検定結果:本試験の合否、及び得点率より評価する。 期末試験:情報、Java2級もしくは3級について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | サーティファイ情報処理能力認定委員会 情報処理技術者能力認定試験 2級問題集、Java™プログラミング能力認定試験2級過去問題集、情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論(シラバス9.0対応)「(株)ウィネット」、システム開発と情報技術(シラバス9.0対応)「(株)ウィネット」、IT戦略とデータ利活用(シラバス9.0対応)「(株)ウィネット」、スッキリわかるJava入門編第4版 | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 プログラミング I | | | | | |
| 授業計画 | 【情報処理検定】 第1部演習問題 1. 基礎理論 2. コンピュータシステム 3. 技術要素 4. 開発技術 5. マネジメント 6. ストラテジ 第2部演習問題 7. 情報セキュリティ 8. コンピュータシステム 9. マネジメント 10. ストラテジ 11. データ構造及びアルゴリズム 12. ソフトウェア開発(Java) 13. サーチファイ検定対策(過去問題①) 14. サーチファイ検定対策(過去問題②) 15. サーチファイ検定対策(過去問題③) 16. サーチファイ検定対策(過去問題④) 17. サーチファイ検定対策(過去問題④) 18. サーチファイ検定対策(過去問題⑤) 【Java検定】 1. Javaを支えるクラスたち | | | | | |

| | |
|--------|---|
| | <ol style="list-style-type: none">2. 文字列と日付の扱い3. コレクション4. 例外5. Java™プログラミング能力認定試験対策(過去問題①)6. Java™プログラミング能力認定試験対策(過去問題②)7. Java™プログラミング能力認定試験対策(過去問題③)8. Java™プログラミング能力認定試験対策(過去問題④)9. Java™プログラミング能力認定試験対策(過去問題⑤) |
| 事前事後学習 | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | 情報処理技術者 I | | | 科目コード | 12035101 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 80 | 4 | 無 |
| 授業の概要・目的 | 情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。 | | | | | |
| 到達目標 | 午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説に加えて、学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の実力アップをはかる | | | | | |
| 評価項目 | 模擬試験結果(20%) 本試験結果(75%) 出席率(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 本試験の合否、及び得点率より評価する。加えて授業中に行う模擬試験結果も評価に加える。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 過去問題および模擬試験 | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 IT基礎理論 | | | | | |
| 授業計画 | 1 対策説明 2 午前問題答練 3 午後問題答練 4 模擬試験1 5 弱点補強 6 模擬試験2 7 総まとめ 8 決起会 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|-------|----------|-----|------|
| 科目名 | データベース概論 | | 科目コード | 12014901 | | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | SQLによるデータベース操作を実習を交えながら学習し、基本的なデータベース構築・運用が出来るレベルの知識・技術の修得することを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | データベースの重要性を理解し、構築・運用の技術を身に付けるために、SQLによるデータベース操作を実習を交えながら学習する。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) すべての実習課題を提出している | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:データベースの、構築・運用の技術やSQLについて問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 3ステップでしっかり学ぶ MySQL入門「技術評論社」 | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 データベースとは何か 2. 第2章 MySQLの基本 3. 第3章 テーブルとレコード操作の基本 4. 第4章 データ型と制約 5. 第5章 データベースの操作 6. 第6章 レコードの並べ替えと集計 7. 第7章 データベースの高度な操作 8. 第8章 MySQLとPHP | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | プレゼンテーション技法 | | | 科目コード | 12010301 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修演習 | 1年 | 後期 | 15 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | PowerPoint2024を使用しプレゼンテーションの組み立て方を学び、実際の操作をプロジェクターを使用してプレゼンテーションを行うことを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | PowerPoint2024を使用し基本的な操作方法を理解する。また、実際のプレゼンテーションの演習を行う。 | | | | | |
| 評価項目 | プレゼンテーション 50% 期末試験 45% 出欠席:5% | | | | | |
| 評価基準 | 制作物:課題のプレゼンテーションより判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 岡本 和也 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ネットワークセキュリティ コンサルティングセールス4年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 30時間でマスター Office 2024「実務教育出版株式会社」 | | | | | |
| 関連科目 | ビジネスアプリケーション演習 | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフの活用 2. SmartArtの活用 3. アニメーション効果 4. 表の活用と画像の挿入 5. ワードアートの挿入 6. その他の機能 7. スライドショーと資料作成 8. Officeのフォトレタッチ機能 9. プレゼンテーションの基礎知識 10. 資料作成・発表 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | インターンシップ実習 | | | 科目コード | 12023101 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修実習 | 1年 | 後期 | 70 | 2 | 有 |
| 授業の概要・目的 | めざす業界・職種の企業等で、実際の業務の流れや仕事のやりがい等を体感する。実習を通して、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようになり、実習後、各自がしっかりとした職業意識をもって、主体的に学ぶことができることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | 企業等で、短期間で集中して、実際の仕事や職場の状況を体験し、職業適性を自ら考え、主体的に職業選択ができるようにする。 また、実習後、しっかりとした職業意識をもって、何を学ぶ必要があるのかを認識し、学習効果をより向上させる。 | | | | | |
| 評価項目 | 専門業務の遂行について、ビジネスマナーについて、実習態度について(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 実習先からの評価 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 実習事前・事後指導 | | | | | |
| 関連科目 | 企業内実習 | | | | | |
| 授業計画 | 企業内実習 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:30時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | 実習事前・事後指導 | | 科目コード | 12023201 | | |
|------------|--|------|-------|----------|-----|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 必修講義 | 1年 | 後期 | 30 | 1 | 有 |
| 授業の概要・目的 | 学内で事前指導を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。 | | | | | |
| 到達目標 | 実習の目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。 | | | | | |
| 評価項目 | 企業研究(20%) 日誌(20%) 振り返りレポート(10%) プレゼンテーション(45%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 企業研究、実習日誌、振り返りレポート、プレゼンテーション及び出欠状況を総合的に評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 長瀬 宗二 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニア32年。内高専の非常勤講師6年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 授業中に適宜資料を配布する | | | | | |
| 関連科目 | ビジネス実務Ⅰ、Ⅱ | | | | | |
| 授業計画 | 【事前】 1:キャリア実習の目的 2:企業で働く際の1日の流れ 3:業務の始業と就業 4:報連相の仕方 5:事例に学ぶ情報モラル 【事後】 1:実習の振り返り 2:企業様へのアウトプット 3:発表、プレゼン資料 | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | システム開発 I | | | 科目コード | 12013401 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 50 | 3 | 無 |
| 授業の概要・目的 | 基本設計書の作成、外部設計書の作成をもとにプログラミング前にどのような事を考える必要があるのかを理解し、今後のプログラミングに活かすことを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | システムを開発するうえでの基本的な手法として、ウォーターフォールモデルで基本設計から外部設計までを行う | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:ウォーターフォールモデルで基本設計から外部設)について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 赤木 伸 | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | 1982年-1987年制御系SEとして、大型プラント作成に従事。1987年-1989年情報提供システム構築にユーザ側SEとして従事。1989年-専門学校システムの構築、運営に従事。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 図解入門 よくわかる最新 システム開発者のための仕様書の基本と仕組み「秀和システム」 | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ アルゴリズム概論 IT基礎理論 | | | | | |
| 授業計画 | 1. 基本設計 2. 外部設計 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:15時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | プログラミングⅡ | | | 科目コード | 12021001 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 50 | 2 | 無 |
| 授業の概要・目的 | プログラミングⅠの範囲に無かったメソッド、ライブラリの使用方法を学習し、より高度なJavaプログラミングができるようになり、実践的な処理とデータ構造の理解ができることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | Javaの実践的な文法及び、オブジェクト指向を用いた高度なプログラミングができるようになる。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:メソッド、ライブラリの使用やデータ構造について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | スッキリわかるJava入門 実践編「インプレス社」 | | | | | |
| 関連科目 | プログラミングⅠ、Ⅱ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラミングⅠの範囲の復習 2. インスタンスの基本操作 3. さまざまな種類のクラス 4. 関数とラムダ式 5. JVM制御とリフレクション 6. 非標準ライブラリの活用 7. ファイルの操作 8. さまざまなファイル形式 9. ネットワークアクセス 10. データベースアクセス | | | | | |
| 事前事後学習 | | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | HTML・CSS | | | 科目コード | 12018601 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 30 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | HTML、CSS、JavaScriptを使って、Webサイトを作成し、複数ページに渡るWebサイトを個人の手で作れるようになることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | Webアプリケーションのフロントエンド部分の開発を行うのに必要不可欠なHTML、CSS、JavaScriptの技術について学習し、1つのWebサイト作成を題材としてWebプログラミングの技術も身につけます。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(70%) 提出物(20%) 授業態度(5%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:HTML+CSS+JavaScriptについて問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 提出物:課題のWebサイト | | | | | |
| 担当教員 | 法華 秀幸 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | SEプログラマー 3年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 30時間でマスター Webデザイン 改訂版「実務教育出版株式会社」 | | | | | |
| 関連科目 | なし | | | | | |
| 授業計画 | 1. 1章 Webサイト制作の基礎 2. 1章 Webサイト制作の基礎 3. 2章 HTMLの基礎 4. 2章 HTMLの基礎 5. 3章 CSSの基礎 6. 3章 CSSの基礎 7. 4章 Webサイトの制作 8. 4章 Webサイトの制作 9. 付録 JavaScriptの基礎 10. 5章 JavaScriptの使用例 11. 5章 JavaScriptの使用例 12. 5章 JavaScriptの使用例 13. Webページの作成 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|--|------|-------|----------|-----|------|
| 科目名 | サーバ環境構築基礎 | | 科目コード | 12023701 | | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 70 | 3 | 無 |
| 授業の概要・目的 | HUBやルーターを用いた演習でローカルネットワークを構築し、実際のネットワークの基礎技術を習得し、仕組みと動作の概要を理解することを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | 通信ネットワークの基本技術、及びこれらのシステムを実現するために必要となるキー技術の概要を実機を用いて理解する。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(95%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:通信ネットワークの基本技術やキー技術について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 赤木 伸 | | 非常勤 | | | |
| 実務経験者による授業 | 1982年-1987年制御系SEとして、大型プラント作成に従事。1987年-1989年情報提供システム構築にユーザ側SEとして従事。1989年-専門学校システムの構築、運営に従事。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 基礎から学ぶネットワークインターネットワーキング入門「ウィネット」 | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークの基本 2. LANの基礎 3. TCP/IP 4. ネットワーク構築演習① 5. インターネットの仕組み 6. ネットワーク構築演習② 7. ネットワークの運用 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| | | | | | | |
|------------|---|------|----|-------|----------|------|
| 科目名 | システムエンジニア概論 | | | 科目コード | 12023801 | |
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 40 | 2 | 有 |
| 授業の概要・目的 | システム運用と開発業務の役割を把握し、システム運用だけでなく、開発も含めたシステムライフサイクル全体を理解する。それにより、一歩先を見据えたシステムの基盤支えるエンジニアになるための土壌を身に付けることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | システム運用の概要・業務内容と、前期に学習した基本情報技術者試験の午前問題範囲と紐づけて教えることで、就職した後の業務イメージを付ける。企業様との連携授業で積極的に質問を行い、一つでも多くの技術を学びとることを期待する。 | | | | | |
| 評価項目 | 期末試験(90%) 授業態度(5%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 期末試験:システム運用の概要・業務内容について問う科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 株式会社日本テクノス | | | 非常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | ICTサポートサービスとシステム運用を中核事業とするシステムインテグレーターです。創業以来、多業種に向けたシステムの監視・保守・運用支援、そしてシステムエンジニアの育成事業を展開しています。 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 独自開発テキスト | | | | | |
| 関連科目 | コンピュータ概論 ネットワークセキュリティ | | | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 運用業務とは(概要) 2. 運用業務とは(実務) 3. ITILとは 4. 検索技術 5. IT関連の法律 6. 情報セキュリティ 7. 情報セキュリティ事故事例とITシステムの監視 8. とITシステムの監視 9. ITシステムの設計 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:5時間) | | | | | |

情報システム学科 令和8年度シラバス

| 科目名 | プログラミング演習 | | | 科目コード | 12023901 | |
|------------|--|------|----|-------|----------|------|
| | 区分 | 開講時期 | | 時間数 | 単位数 | 企業連携 |
| | 選択必修演習 | 1年 | 後期 | 20 | 1 | 無 |
| 授業の概要・目的 | プログラミング学習環境Paizaを活用し、多くの演習問題をプログラミングすることでプログラミング力の向上を期待する。また、サーティファイ Java™プログラミング能力認定試験2級が取得できるように力をつけることを目的とする。 | | | | | |
| 到達目標 | オブジェクト指向を使った課題をだし、出された課題を完成させる。また、Java2級の検定問題を使って、知識も身につけ、Java2級の合格レベルまで知識をつける。 | | | | | |
| 評価項目 | 課題作品(45%) 期末試験(50%) 出欠席(5%) | | | | | |
| 評価基準 | 課題作品:オブジェクト指向を使った課題を出し、作品の出来栄や実装できている機能の数によって評価する。 期末試験:Java2級の範囲について問う科目試験を行う。その試験結果により判定し評価する。 | | | | | |
| 担当教員 | 妹尾 潤 | | | 常勤 | | |
| 実務経験者による授業 | システムエンジニアとして、上流工程から下流工程、運用フェーズと幅広く従事した経験を活かし、実習指導を行う。 SE・プログラマー7年 サポート営業1年 | | | | | |
| テキスト・参考文献 | 授業中に適宜資料を配布する | | | | | |
| 関連科目 | プログラミング I | | | | | |
| 授業計画 | 1. Paiza演習 2. 総合演習課題 | | | | | |
| 事前事後学習 | 予習・復習において、内容の確認および整理を行い、理解度と課題を明確にすること。(目安:10時間) | | | | | |